

鶴岡市で高病原性鳥インフルエンザ発生！

12月8日、鶴岡市の農場において、県内で初めて（国内29例目）となる高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

【発生農場の概要】

所在地：鶴岡市

飼養状況：採卵鶏 約27,000羽

【疫学関連農場の概要】

所在地：庄内町

飼養状況：採卵鶏 約40,000羽

【経緯】

12月7日：鶴岡市の農場から、通常より死亡羽数が多い旨の通報を受け、県が当該農場への立ち入り検査を実施。当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性と判明。

12月8日：遺伝子検査を実施し、高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜と確認。

【対応】

発生農場および疫学関連農場の飼養鶏の殺処分・埋却等の防疫措置を迅速に実施。

なお、高病原性鳥インフルエンザは国内各地で継続的に発生しております。

事例	確認日	発生の概要
26	12月6日	佐賀県武雄市(採卵鶏 約3万羽飼養)
27	12月7日	鹿児島県出水市(採卵鶏 約6万羽飼養)
28	12月7日	福島県飯館村(採卵鶏 約10万羽飼養)
31	12月8日	愛知県豊橋市(あひる(あいがも)約1,000羽)

衛生管理について最大限の対応を！

1. 衛生管理区域^{*}に立ち入る者や車両への対策

- ①立ち入る者の手指消毒等 手の洗浄・消毒スプレーの使用
- ②衣類や靴の消毒・専用化 踏み込み消毒槽の設置や専用の衣類、靴の使用
- ③区域に立ち入る車両消毒等 出入り口での消石灰散布や蓄圧式消毒器の設置

※衛生管理区域とは、「病原体の侵入を防止するために、衛生的な管理が必要な区域」をいいます。

2. 鶏舎に立ち入る者への対策

- ①立ち入る者の手指消毒等 消毒スプレーの使用や専用の手袋の使用
- ②専用の靴の設置及び使用 鶏舎専用長靴の使用や踏み込み消毒槽の設置

※消毒を行う際は、長靴などの汚れを落としてから行うとともに、消毒薬は汚れた都度、最低でも1日1回以上交換しましょう。

※長靴の交換の際は、交差汚染を防ぐために鶏舎外と鶏舎内で使用する長靴の動線が交わらないように注意しましょう。

3. 野生動物侵入防止対策

- ①野生動物侵入防止のためのネット等設置、点検及び修繕
鶏舎、堆肥舎、飼料保管庫等に野鳥やたぬき、いたち等が侵入しないように、ネットを設置（網目2cm以下）し、壁等の破損箇所は修繕しましょう。
- ②ねずみ及び害虫の駆除
殺鼠剤、粘着シートにより、ねずみやハエを駆除しましょう。

早期通報について

- 1. 過去3週間の平均死亡率の2倍以上が死亡したとき
- 2. 5羽以上がまとまって死亡したとき

平時から家きんの健康状態を注意深く観察し、死亡数増加以外にも産卵率の低下、元気消失の異状が見られた場合は、速やかに家畜保健衛生所まで通報するようお願いします。

0238-43-3217
080-1840-0705

上記電話番号で24時間対応しています！